ギル・シャハム（ヴァイオリン）

Gil Shaham, Violin

今日のクラシック音楽界を牽引するヴァイオリニスト。ギル・シャハムは、完璧なテクニック、比類なき優しさと寛大な心を併せもち、アメリカを代表する巨匠としての地位を不動のものとしている。グラミー賞受賞、そして「ミュージカル・アメリカ」からは年間最優秀器楽奏者に選出され、常に名高いオーケストラや指揮者からソリストとして招かれ、リサイタル活動以外にも世界有数のコンサートホールや音楽祭で活躍する。

定期的にベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ボストン交響楽団、シカゴ交響楽団、イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団、ロサンジェルス・フィルハーモニック、ニューヨーク・フィルハーモニック、パリ管弦楽団、など名だたるオーケストラとのコンサートと共演をしている。また、モントリオール、シュトゥットガルト、シンガポールでは長年アーティスト・イン・レジデンスを務めてきた。その他にオーケストラと共に『1930年代のヴァイオリン協奏曲』と題したプロジェクトの一環で、バーバー、バルトーク、ベルク、コルンゴルト、プロコフィエフなどの作曲家の作品を追求してきた。使用楽器は、1699年製のストラディヴァリウス「ポリニャック伯爵夫人」。